

平成 25 年度 学校 評価 実施 報告 書

| 学校目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 | 学校評価 |
|--|---|---|---|---|---|---|
| | 具体的な手立て | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | |
| <p>○生徒一人ひとりの進路を保障する教育課程を編成する</p> <p>○3学期制へ移行し、当初の目的が達成されたか検証を図る。</p> | <p>○新教育課程の実施・検証を進め、教育課程の一層の充実を図る。</p> <p>○3学期制の充実に向けた課題点を学年、グループ等より集約し改善を進める。</p> | <p>○生徒の実情やニーズを踏まえた教育課程を編成することができたか。</p> <p>○3学期制への移行に伴い学習指導、生活指導、進路指導等を円滑に実施することができたか。</p> <p>○9月の授業について生徒の取組を向上させたか。</p> | <p>○大学説明会や外部団体主催の各種研究会に参加して、新課程入試に関する情報収集に努めた。</p> <p>○夏季休業前の学年全体としての進路指導が不十分であった。</p> <p>○1、2年生を対象とした保護者面談への出席者数は、昨年とほぼ同じ8割程度となった。3学期制の利点である1学期の成績等生徒の実情を踏まえた保護者面談、生徒指導は、家庭と一体となった指導を図る上で有効であった。また、次年度に向けた選択科目の指導においてもより具体的な指導が可能となった。</p> <p>○夏期講習において1学期の成績を踏まえて課題のある生徒を対象とした補習を中心とした講座を立ち上げることができた。そのため、2学期には改めて一斉スタートを切ることができるようになった。以下対象講座名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代文 夏の課題対策 ・古文・漢文基礎の基礎 ・化学基礎 | <p>○新しい情報が入り次第、進路部で情報を整理・検討して、その内容をいち早く生徒・職員に伝えていくようにする。</p> <p>○2学年で新カリを先行実施している数学・理科の教育課程について、1学期の学習状況を分析し、課題の共通理解を図る必要がある。</p> <p>○期末試験後の成績処理等の日程が過密であったため、夏休みに向けての学習・進路指導が不十分であった。今後は、夏季休業中に進路に関する指導日を設定したり、夏季休業に入る時期を繰り下げるなどの対策を講じて、学習・進路指導の時間を確保する必要がある。</p> <p>○夏季休業中の保護者面談は、学校の今日的な課題を説明し協力を求める上でも有効な機会であり、各グループ、学年は今まで以上に組織的な調整を図り配付資料等の充実にも努める必要がある。</p> <p>○7月実施の「校内実力模試」の結果資料が保護者面談に間に合わない現状がある。2学期からの授業に意欲的に取り組むために模試の結果を有効に活用する方法を考える必要がある。</p> | <p>(保護者)</p> <p>わかりやすい授業を心がけている先生方が多く、学力向上進学重点校としての意識を感じます。また、休業前の保護者面談は学校の様子を知る上でありがたく、更なる充実を願います。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○新たな教育課程の実施にあたり、ニーズの把握や情報収集につとめていることは良く理解できる。今後、実施結果を分析・検証しながら、教育課程の一層の充実に取り組んで欲しい。</p> <p>○生徒の第1志望の実現に向けた教育方針のもと国公立大学進学等も視野に入れた多様な進路の実現が図られるよう努力され、当初の数値目標も達成されたことは評価できる。</p> <p>○厳しい日程のなか3学期制のメリットを活かすために苦勞されているが、柔軟な日程設定など課題が整理されていることから、今後の円滑な進路指導等が期待できる。</p> <p>○過密な日程の中で、保護者面談を有効に活用しようとする努力がなされていることはよい。</p> <p>○校内実力模試の結果の活用については引き続き検討して欲しい。</p> <p>○学習課題がある生徒を対象とした補習講座を提供できたことは評価できる。</p> | <p>○学力向上進学重点校として生徒一人ひとりの進路を保証するために大学説明会や外部団体主催の各種研究会に参加し積極的に情報の収集を図ることができた。今後とも情報の収集に努めるとともに、進路説明会、保護者面談、講習科目の設定等を通じて情報の還元を図っていきたい。</p> <p>○3学期制の導入により保護者面談、選択科目の指導等メリットを有効に活用することができ一定の成果を挙げることができた。今後も検証に努め、3学期制を充実したものとしていきたい。</p> |

| | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|--|--|--|--|
| <p>生徒一人ひとりの人間的な成長と心ふれあう教育を推進する</p> | <p>○定期的な全体ケース会議を定着させるとともに、個別支援の充実に向けた相談体制の更なる構築を目指す。</p> | <p>○定期的な全体ケース会議を実施し、個別の支援を実施することができたか。</p> <p>○相談体制の構築に向けた研修の実施が図れたか。</p> | <p>○定期的に全体ケース会議を開くことで、共通理解にもとづく支援ができています。</p> <p>○定期的な全体ケース会議は定着している。</p> <p>○相談体制の構築に向けた全体研修は実施できなかったが担当グループで意見交換し、他の職員に情報提供できた。また、教育相談を効果的に行うためスクールカウンセラーと連携を図ることができた。</p> | <p>○定期的な全体ケース会議以外に迅速に対応するため、生活保健部が中心となり学年・関係職員等でチームを編成できる準備と環境作りが必要である。</p> <p>○生徒への呼びかけや掲示物を活用するなどして、気軽に相談ができるための環境作りが必要である。</p> <p>○生徒一人ひとりが抱える問題の多様化が進むなかで、全職員で定期的に情報交換ができる場の設定が必要である。また、スクールカウンセラー等の支援環境の整備が今後も重要な課題である。</p> | <p>(保護者)</p> <p>○充実した高校生活をすごしていて、ありがたく思っています。友人にも恵まれ学校生活がとても楽しそうで、安心していきます。</p> <p>○自分で自分の将来が決定できる人間の育成を図っていただければと考えています。</p> <p>(学校評議員)</p> <p>○職員室の前に机と椅子が配置され、学習や教育相談など熱心に個別指導が行われている。相談を希望する生徒には良い体制がとられていると考える。</p> <p>○全体的な相談体制は確立されていると考えます。今後はさらに個別の支援について臨機で親身な対応が図れるよう、生徒が相談しやすい雰囲気づくりに取り組んでいただきたい</p> | <p>○定期的な全体ケース会議は定着し情報の共有化という観点で大変有効なものとなっている。今後も多様化する生徒に対して、より効果的に対応できるよう研究・工夫する必要がある。</p> |
|------------------------------------|--|---|--|--|--|--|

| | | | | | | |
|---|---|--|--|--|---|---|
| <p>「読解力」の視点から授業の質的転換・向上を図り、生徒自身の自ら学ぶ力を育成し、基礎学力の定着と発展的な学力の伸長をめざす</p> | <p>○学力向上進学重点校として研究の還元と検証を進め、学校目標の実現を図る。 ○学力向上進学重点校として3年次の発展的学習内容への円滑な移行を意図した教科指導体制の確立を目指す研究を始める</p> | <p>○公開授業や授業研究等を全体的な取組として実施することができたか。 ○自学自習の学習習慣の定着を図るため学年・教科との連携をすすめることができたか。</p> | <p>○初任者の授業力向上にむけて今年度新たに6月下旬に研究授業を実施した。また、11月学校全体の取組として研究授業を実施した。 ○生徒の第1志望への進路実現の支援を図るため、教育力向上ワーキンググループを本年度も継続して組織し、本年度の研究テーマとして、「各教科において3年次の発展的学習内容への円滑な移行に向けて各教科が組織的に取り組むべき課題は何か。」を設定し、課題の洗い出しと検討に着手した。 ○本年度も継続して自学自習の定着に向けて効果的な週末課題（週末を利用した家庭での宿題）の在り方の検討と実施を図っている。 ○夏期講習において1、2年次に3年次の発展的学習内容の円滑な移行を見据えた講座を設定するとともに基礎・基本を重視した講座もあわせて設定、生徒のニーズに応えるよう工夫した。以下は、発展的内容を意識した対象講座である。 (1年次) ・「生物と無生物のあいだ」を読む ・TOEIC入門 ・古文・漢文の上級問題演習にチャレンジ ・音楽（発声法、歌唱法等） ・「受験対策」数学 (2年次) ・今から始める入試の古典 ・漸化式と帰納法 ・音楽（発声法、歌唱法等）</p> | <p>○初任者（2人）の所属教科から多くの参加を得ることができた。また、事後研修も授業力向上に役立った。一方で他教科からの参加者が各回3～4人ほどであり、いかに他教科にも拡大を図っていくかが今後の課題として残った。 ○毎年、11月の「学校へ行こう週間」の時期に、授業力の向上を目指した全校の取組として各教科の「研究授業」を実施した。本年度からは、各教科の取組をより明確にした「研究授業」を実施することができた。また校外にも周知し参加者を得ることができ、より活性化を図ることができた。 ○各学年・グループ等から上がってきた課題等を整理し、学校全体でその課題を共有し、一つ一つ解決していくことが必要である。 ○生徒が過度の負担とならないよう現状の生徒の学習能力にあった週末課題の内容、適量について学年と実施教科が連携しながら引き続き検討していく必要がある。 ○引き続き組織的な講習、補習体制の構築を考えていく必要がある。</p> | <p>(保護者) ○夏期、日曜補習等を実施していただき感謝しております。また、学習に課題を持つ生徒へのサポートもよろしく願います。 ○自学自習に向けて週末課題等の宿題を出していただけることは大変ありがたく思っています。ただ、過度の負担感を感じないような配慮を望みます。 (学校評議員) ○授業力向上は学力向上進学学校として重要なテーマであり、継続して授業研究が行われることは評価できる。 ○「研究授業」を実際に参観したが活気にあふれた授業に感心した。今後も機会があれば参観したいと考える。 ○大学入試の結果等から「確かな学力の向上」に向けた取組が着実に進捗していると感じられる。地域から一目置かれる存在になってきている。 ○課題のあり方の検討、夏期講習などに積極的に取り組んでおり、学力向上進学重点校としての高い意識や意欲を感じる。生徒の学習ニーズは、発展的内容から補習的内容まで多岐にわたるので、取り組むべき課題を明確にする努力がなされていることを感じる。 ○教職員及び生徒は意欲的に教育活動に邁進しているが、教育設備は脆弱そのものの状況である。学習環境の中で設備の充実を図ることにより、学力、気力の向上といった好影響が出ると考えられる。古くなった設備は順次交換すべき時期に来ているのではないかと引き続き努力して欲しい。 ○懸案だったトイレの改修・体育館の緞帳の更新ができたことは評価できる</p> | <p>○「読解力」の視点から授業の質的転換・向上を図り、生徒自身の自ら学ぶ力を育成し、基礎学力の定着と発展的な学力の伸長をめざすという目標に向けて、教科会、グループ会議を実施し、課題・取組・検証方法等を教育力向上ワーキンググループを中心に集約することができた。11月に実施予定の「学校へ行こう週間」中の「研究授業」は、この課題の改善をテーマとして実施することができた。 ○今後とも組織的な講習体制の構築に向けて改善していきたい。夏期講習において発展的内容から基本的、補習的内容まで多岐にわたる内容の講座を設定することができた。また、夏期講習については実施期間に対する改善要望もあり改善したいと考える。 ○創立50周年を迎え、記念事業としてPTA、同窓会の援助もあり「トイレの改修」を行った。体育館等の老朽化は甚だしいものがある。今後とも県に対して要望していきたい。また、机・椅子といった備品類の整備に努めたい。</p> |
|---|---|--|--|--|---|---|

| | | | | | | |
|---|--------------------------------------|--|---|---|--|--|
| <p>○卒業後までを見通したキャリア教育を充実させ、生徒の第1志望への進路実現を支援する進路指導を推進する</p> | <p>○進路シラバスの検証と改善、データの集積と活用を推進する。</p> | <p>○個々の生徒の進路希望実現に資するデータの集積や活用を推進することができたか。 ○生徒の進路実現に向けた面談指導の体制が図れたか。</p> | <p>○模試データの内容や生徒の第一志望などの情報を職員会議で報告し、職員全体で情報を共有できるようにした。 ○面談指導に関しては学年間・担任間で指導方法や内容にばらつきがあった。</p> | <p>○学年全体で成績上位者・下位者を把握し学習指導の参考にしたり、教科担当者に学年全体の学習状況等を伝え、教科指導に役立てることができるように、模試データの分析及び共有を進めていく。 ○学習状況リサーチや模試の結果などの客観的データを使いながら面談ができる体制を作っていけるように、「進路の手引き」の改訂や情報機器の使い方の研究などを進路部で進めていく。 ○行事の衣装づくり等で親の協力がなくても製作できるような企画を工夫する。 ○部活動については、部室の管理や終了時刻等でルールを守れないことがあった。部長をはじめ生徒の意識向上を図っていきたい。</p> | <p>(保護者) 大学受験の仕組みがとても複雑で理解するのに大変です。今後も進路の充実に向けた相談・サポート体制の整備を引き続きお願いします。 (学校評議員) ○キャリア教育の充実に向け卒業生との協働という観点から支援していきたい。</p> | <p>○3年間を見通したキャリア教育の充実、的確な情報に基づく新しい指導体制は着実に成果をあげていると考える。今後ともデータの集積と検証による改善、全校的な情報の共有化を進めたい。</p> |
| <p>○生徒会活動、学校行事及び部活動等を通して、豊かな人間性、積極性と社会性を備えた生徒を育成する</p> | <p>○伝統の継承と新たな取組について研究を進める。</p> | <p>○生徒会行事等を、生徒が主体的に企画し運営することができたか。</p> | <p>○学年を超えた生徒間の取組みが図られ、学校行事や部活動が自主的、主体的に実施できた。</p> | | <p>○生徒の自主性を重んじる校風は、社会性を養うよい機会となっている。体育祭や文化祭は、保護者の関心も高く、意見や要望も多いが、生徒の自主性を損なわない範囲で、保護者も楽しめるよう今後も助言等していただけたらと思う。 ○トイレの清掃に先生が立会指導している姿をよく目にした。社会に生きていくに必要な道徳心やチームワークは、理論ではなく、こういった活動で育まれるということを意識したい。 ○道交法の改正もあり、交通マナーの向上に向け PTA も積極的にかかわっていきたい。</p> | <p>○学校行事への自主的・主体的な参画を促すことにより、豊かな心の醸成と自立心を育むことができた。</p> |

| | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|--|
| <p>生徒、保護者、中学生及び地域の方や県下に、本校の教育活動の情報を発信し、地域に根ざし、貢献する学校づくりに取り組む</p> | <p>○保護者や地域の方と協働・連携した教育活動を展開する。 ○ホームページ等の一層の充実を工夫する。</p> | <p>○学校説明会、公開授業、研究発表会等を行い、保護者・中学生・地域・県下に本校の教育活動の情報を発信し、開かれた学校づくりを推進できたか。 ○本校教育活動の情報発信の手段としてホームページを充実させ有効に活用することができたか。</p> | <p>○学校説明会、学校見学等の予定をホームページを利用して、中学生および中学生の保護者に発信し、学校見学を円滑に行っている。 ○夏季休業中の学校説明会は本年度より人数枠の拡大を図るとともに、好評の学校説明ビデオを見やすくするためモニターを更新し、リーフレットも見学者の理解により役立つよう大幅な改善を図った。 ○本年度も引き続き応援団チアガールによる地元自治会の子供達への指導、つきみ野中学校剣道部の指導を通じての交流等、地域との活発な交流が図れている。この他に 物理部：市おもしろ科学館出展 演劇部：市男女共同参画課主催事業協力、大和阿波踊りボランティア参加 男子バレー：つきみ野中学との合同練習 ○行事ごとにホームページを更新し、本校の教育活動の情報を発信した。</p> | <p>○ホームページ等を利用して公開授業、研究発表会等の情報を保護者・中学生・地域・県下に発信することができた。 ○交流の拡大は今後とも必要であるが、日程の調整が課題である。 ○ホームページをより見やすくするために、ホームページの形式を検討する。</p> | <p>(保護者) ホームページの更なる充実をお願いします。 (学校評議員) ○地域と生徒との交流には大変感謝し評価している。今後ともさまざまな場面での連携を進めていただきたいが、高校生にとっては、学業、部活動等が第1優先項目で本分であるので、あくまでも事情の許す範囲での連携をお願いする。 ○つきみ野中学への出前授業、部活動の交流は中高連携の観点からも感謝している。 ○今時、ホームページは最大の広報と言える。今後とも更なる充実をお願いしたい。</p> | <p>○学校説明会、学校見学会に向けてリーフレットの改善、モニターの更新等を図るなど、本校の教育活動の情報発信は、着実な成果をあげていると考える。 ○地域主催の行事等に積極的に参加することで地域との交流を図ることができ、併せて、本校の教育活動の内容を発信し、地域から信頼される学校作りを推進することができた。 ○ホームページにおいて緊急掲示板等、時宜にかなった情報を提供することができた。今後ともホームページの改善に努め開かれた学校作りを推進していきたい。</p> |
|--|---|---|--|---|--|--|

| | | | | | | |
|---|--|--|--|---|---|---|
| <p>○教職員の不祥事の発生をゼロとするためのプログラムを作成し、確実な実施、検証、評価を行う</p> <p>○災害発生時のさまざまな場面对応できる体制を整備する</p> | <p>○OJT を計画的・組織的に展開する。</p> <p>○防災マニュアルの更新・改善を推進する。</p> <p>○PTA と連携し備蓄を推進する。</p> <p>○災害発生時のさまざまな場面对応できる連絡体制の充実に向け、手段・方法について情報を収集して検討を加える。</p> | <p>○定期的に職員会議等を通じてOJTを計画的・組織的に展開することができたか。</p> <p>○PTA と協働し防災に向けた体制の構築が図れたか。</p> <p>○休日における部活動等の対応も含めた連絡方法の確立が図れたか。</p> | <p>○事故防止に向けて職員会議において研修報告として「体罰禁止」、「部活動における事故防止」、「過呼吸に対する対応について」等を実施した。</p> <p>○防災訓練を実施する際に1時間マニュアルにもとづく対応を行い、その有効性を検証した。</p> <p>○今年度、管理職が地域の防災訓練に参加した。地域との連携は今後も重要な課題であり、学校評議員会等で活発な情報・意見交換ができたので、引き続き情報・意見交換の場を確保していく。</p> <p>○防災倉庫を設置することができた。</p> <p>○家庭との連絡方法の複数確保に向けて検討している。</p> <p>○広域避難所に関する打合せを自治会、大和市と行い地域連携を進めた。</p> | <p>○引き続き今日的な課題について機会を捉えて組織的に取り組む必要がある。</p> <p>○1時間マニュアル策定後、最初の防災訓練を7月に実施した。実施後、課題点の集約に向けて教職員にアンケート等を実施しており、今後より現実的なマニュアルの策定に努める必要がある。</p> <p>○防災に関しては地域との連携も重要な課題である。</p> <p>○備蓄品の種類の充実、数量の確保が今後も引き続き課題である。</p> <p>○業者の緊急連絡網ツールの活用等の検討には、個人情報の観点から保護者の意見を十分にふまえた整理が必要である。</p> <p>○行政との関係もあり学校単独だけでは難しい課題も多くあるが、広域避難場所としての役割を果たすため、本校がどのような準備をすべきか、具体的な検討を今後も推進する。</p> | <p>(保護者) 災害発生時等の緊急連絡方法を工夫して下さい。 (学校評議員)</p> <p>○本校は広域避難場所に指定されているが、災害時の拠点になる「体育館」は昭和41年竣工から建て替えられないため老朽化がはなはだしい。ぜひ改善に向けて努力して欲しい。</p> <p>○今後とも、県として防災倉庫の整備充実等防災体制の構築に努めるよう要望して欲しい。</p> <p>○昨年度から学校ホームページの緊急掲示板がタイムリーに更新されるようになり、緊急時の備えが進みつつある。</p> <p>○緊急時の連絡方法の多様化は急務に課題であり、現在の電話リレーによる伝達方法だけでは不安が残る。電子メールを使った一斉伝達等有効な手段を検討して欲しい。</p> <p>○広域避難場所としての大和高校の位置づけを明確にして欲しい。</p> | <p>○職員会議において事故防止に資する研修報告を行った。今後とも時宜にかなったOJTを組織的に展開していきたい。</p> <p>○新たに制定した1時間マニュアルによる防災訓練を実施し検証を図ることができた。今後、家庭への連絡方法の検討等を進め、より有効な防災システムの構築・改善を図りたい。</p> <p>○PTA と協働のもと備蓄体制の整備に努めている。本年度、防災倉庫の確保ができたことは大きな前進だった。</p> <p>○具体的な広域避難所に関する打合せを自治会、大和市と開始することができた。</p> |
|---|--|--|--|---|---|---|